

議会だより発行 **40**周年 (昭和59年4月23日創刊)



議会だより

しらたか

3月定例会
山形県白鷹町議会

Vol.162

2024年4月15日発行
(令和6年)



期待と不安で胸いっぱい

荒砥小学校入学式

着実な事業遂行を 令和6年度の主な事業 . . .

2p

令和6年度予算審査

4p

ここが聞きたい 一般質問で町政を問う

13p

皆さんからの声 議会だよりアンケートの結果

20p

お手持ちのパソコンやスマートフォンなどで議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

この広報は、議員の自主編集で発行しています。

定例会の概要

3月
定例会

- 期 間 3月5日から15日（11日間）
- 審 議 令和6年度当初予算 令和5年度補正予算8件 条例案件15件
人事案件1件 契約案件1件 指定管理者の指定5件
町道認定3路線 請願審査1件 財産の無償譲渡1件
※原案のとおり可決
- 一般質問 竹田雅彦 議員【災害に強いまちづくりについて・部活動の地域移行をどう進めていくのか】
横山和浩 議員【災害時におけるペット避難の充実を期待する】
金田 悟 議員【共創のまちづくりを踏まえた第6次総合計画について】

3. 「地域力」 地域のつながり強化へ

- ◇地域防災力の向上に向け、消防団の維持と本部の組織体制を強化する。 5866万1千円
- ◇地区に配置の集落支援員を増員し、地域の課題解決の取り組みを強化する。 2670万円
- ◇社会とのつながりのための、通いの場への移動支援を行う。 164万円
- ◇町立病院の改修に向けた実施設計や、検査機器などの更新を行う。 1億455万2千円



消防団の組織を強化

4. 「定住化」 関係人口の拡大へ

- ◇子育て支援住宅の、老朽化した機械設備などを改修する。 600万円
- ◇情報発信や交流サイト、体験ツアーなどで、都市部の若者や出身者が様々な形で本町に関わる仕組みをつくる。 1500万円
- ◇友好都市、災害応援などで縁のある自治体との交流や、本町出身者団体への支援を広げる。 231万2千円



子育て支援住宅

新年度予算可決

人口減少に待ったなし 着実な事業遂行を

主な新規・拡充事業

1. 「人づくり」 少子化、人手不足の解消へ

◇こども家庭センターを設置し、出産・子育ての相談支援体制を強化する。 306万6千円

◇老朽化や酷暑対策として、白鷹中学校体育館にエアコンを設置し、床を改修するなど。 2億4600万円

◇多様な働き方を求める移住希望者と、人手不足に悩む企業などをつなぐ取り組みを行う。 1603万5千円



愛真こども園 卒園式

2. 「産業・経済」 農業再生と企業の雇用創出へ

◇園芸作物生産に取り組む経営体の、競争力向上に向けた支援を行う。 111万8千円

◇遊休農地の再生を行う認定農業者や、担い手による農地再生活動を支援する。 72万7千円

◇企業立地、設備投資に伴う、新たな産業団地造成に向けた調査を行う。 200万円

◇ふるさと森林公園の再整備にむけて、基本構想の策定を行う。 1593万6千円



出荷に向けて準備中

令和6年度 当初予算

一般会計92億7000万円
(前年度比6.43%増)
総額 155億3329万円
(前年度比6.40%増)

新年度当初予算額			
会計項目	予算額		
一般会計	92億7000万円		
特別会計	十王財産区	86万円	
	国民健康保険	13億7224万円	
	介護保険	16億6647万円	
	後期高齢者医療	2億1050万円	
事業会計	水道	収益的支出	3億 227万円
		資本的支出	3億1958万円
	下水道	収益的支出	5億7802万円
		資本的支出	3億4276万円
	病院	収益的支出	12億3280万円
		資本的支出	2億3779万円
合計	155億3329万円		

※万円未満は端数調整

総括質疑

― 施政の方針を問う ―

「減」に向き合う 施策を

笹原 俊一 議員

学校の在り方

問 急速な少子化で児童生徒数が減少する。学校の在り方など今後の方向性は。

町長 専門家や教育委員会の話伺いながら方向性は出していくが、メリット・デメリットを把握しながら取り組む。

問 複式学級も間近に迫っている。地域、保護者、先生方と議論を進めて行く考えはないか。

町長 議論には私自身相当な覚悟を持って地域に入らなくてはならない。令和6年度からは考えていない。

町産木材の活用

問 町の内外で町産木材の活用を進めるための方策をどうしているか。

町長 伐採から製材、乾燥、出荷、植林という川上から川下までの流通を木材の専門業者と協力して取り組んでいきたい。

持続可能な病院運営

問 町立病院の持続可能な運営のための取り組みは。

町長 新しく内科の医師が増員され、検査機器も更新される。町内医療の最後の砦と認識しながら運営に取り組んでいきたい。

持続可能なまちづくりを目指して

丸川 雅春 議員

地域の担い手の育成

問 地域人材ベースキャンプ事業において、需要と供給のバランスを保つため、運営支援をどうしていくのか。

町長 一年通して働いていただけるような環境づくりが大きな課題と認識している。推進交付金や出捐金などの財政支援などを行っていきたい。

新たな人の流れの形成

問 関係人口拡大に向けて、本町に関心を持つていただくための対策はどうしていくのか。

町長 ふるさと納税者などの本町に興味を持つてくださる方々や、本町出身の首都圏の方

々との交流を大切に、そういう方々をベースに拡大していきたい。

道路交通網の整備

問 国道348号の高規格化による再整備に向けた取り組みをどう進めていくのか。

町長 整備促進期成同盟会の会長とともに各方面への要望活動に取り組んでいきたい。



総括質疑の動画をご覧ください。

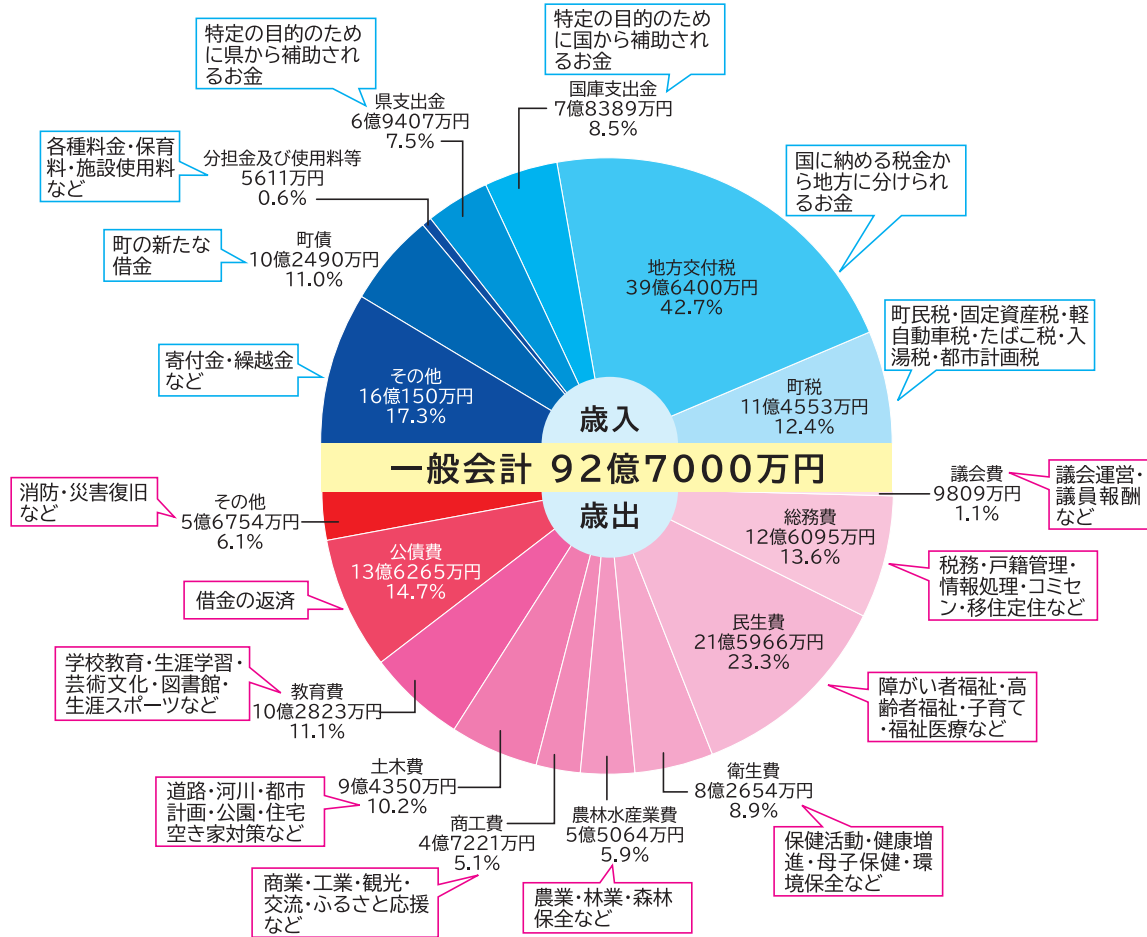


白鷹のよさを発信しよう（地域おこし協力隊発表会）

予算特別委員会質疑

予算特別委員会とは

当局から提案された予算が、有効に使われようとしているか審査を行います。一般会計のほか、四つの特別会計と三つの公営企業会計があります。
3月12日と13日の2日間にわたり、令和6年度当初予算について審査しました。



※定額減税の影響

丸川委員 個人町民税の所得割において、定額減税が実施されない場合、前年度比較をどう見込んでいるか。

当局 定額減税での減収分は全額、地方特例交付金で補填される。その額を5300万円と見込んでおり、それを当初の予算に加えると、約7000万円の増収と見込んでいる。

原油価格高騰等の影響

丸川委員 法人町民税の法人税割において、原油価格や原材料の高騰の影響をどのように捉えているか。

当局 令和5年度は3年ぶりに6千万円を上回ると見込んでいるが、令和6年度の予算については、原油価格高騰などを考慮して、令和5年度の決算見込みの約95%を見込んでいる。

※定額減税
税額を一定額減税する減税の方法です。
2024年6月に実施される予定の定額減税では、1人あたり所得税3万円、住民税1万円の合計4万円が減税されます。
減税の対象になるのは納税者本人とその扶養家族（いずれも居住者のみ）です。

歳出 (町の支出)

総務費

公共交通運転手確保事業

丸川委員 現在公共交通機関で、高齢化による支障は出てきているのか。

当局 現在、運転手の平均年齢が70歳くらいで、高齢化が進んでおり、担い手の確保が課題となっている。県とも連携しながら、2種免許や大型免許取得の費用を支援していきたい。



口座振替電子化促進事業

横山委員 現状と課題、この事業の方向性は。

当局 口座振替は書面で申し込みとなるが、その手続きが煩雑であることから、簡略化などを目的として、銀行のキャッシュカードを活用した申込手法を導入するもの。器材2台は窓口を設置し、1台は持ち運びできる端末とする。

佐々木委員 全国または県内の他の自治体での導入状況は。

当局 県内では2つの自治体、全国では300を超えている自治体がすでに導入している。

集落支援員の活動状況は

佐々木委員 地域によつては人材の確保が難しい所もあるようだが、各地区どのような活動を行っているのか。

当局 空き家対策に関することや紅花での地域振興活動、認知症予防サロンや地域食堂、また高齢者の見守りや生活支援、放課後子ども教室の運営など取り組んでいただいている。

関係人口の増加へ

笹原委員 多様な人材還流促進事業の具体的な内容は何か。

当局 定住に至らずとも本町に関心を持ち、継続的に関わる関係人口の増加を目的とする。地域との人材交流を通じて新たな人の流れを作っていきたい。

コンビニで証明書交付

笹原委員 全国のコンビニエンスストアで交付可能となる証明書は何か。ほかの商業施設でも可能か。

当局 交付対象の証明書は、住民票の写しの謄本と抄本、印鑑証明書。

コンビニ以外の店舗でも実施している。令和5年9月現在、全国5万6千店舗で利用できる。



民生費

介護人材確保事業

竹田委員 令和6年度も3施設2人ずつで6人という枠組みでの事業か。

当局 採用規模が大きくなると手数料負担も大きくなるため、令和5年度では採用者数が6人以上の場合、上限を4人までに引き上げて対応することとした。6年度は5年度の経過を踏まえ、提供基盤の確保につながるよう、事業展開をしたい。

※ヒアリングフレイル予防事業

横山委員 具体的な取り組みは何か。

当局 聴力チェックなども個別に実施しながら、必要に応じて医療機関への受診を勧め、非課税者に対しては補聴器などへの補助を予定している。

横山委員 研修会などの機会を考えているか。

当局 現段階では、町民全体に参加いただけるといった研修会を関係団体などに開催していただきたいと考えている。そういった機会には、簡単な聞こえのチェックも可能と伺っている。

※ヒアリングフレイル難聴そのもの及び難聴を原因とするコミュニケーションの問題や生活の質の低下等に起因する心身のフレイル（虚弱）。

ふるさと子ども交流館

金田委員 これまでの経緯と取り組みは。

当局 川下保育園として建設、その後、平成13年度からふるさと子ども交流館として利用してきた。自然体験塾などを開催しオープン当時は1700人程度の利用実績があった。

金田委員 解体にあたっての地域合意は。

当局 地元の下山区とは解体の方向で話をさせていたが、施設利用の相談もあるので、今後決定していきたい。



老朽化が進む交流館

衛生費

多頭飼育崩壊の防止

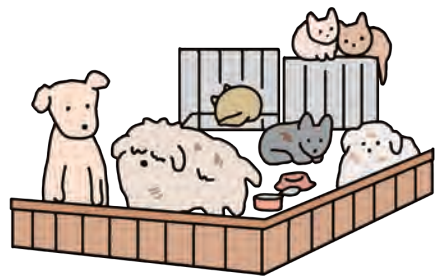
横山委員 どのような取り組みか。

当局 ペットは基本的に飼い主が不妊手術等を行うもので、その必要性について情報提供や周知啓発を行う。

飼い主だけで解決が困難な場合は対策協議会で支援の検討を行うほか、譲渡会や一時預かりへの支援を実施したい。

佐々木委員 多頭飼育に関し今後さまざまに相談が多く寄せられると思うが、専門窓口を設ける考えはあるか。

当局 相談窓口は暮らし環境係になるが、専門的な知識が必要になる。県での研修会などで職員の認識を深め、保健所や愛護団体などからアドバイスをもらい対応していきたい。



農林水産業費

地域計画

金田委員 地域計画策定にかかる会議費等の予算計上が無いが、計上する考えはないか。

町長 会議費などの予算化は考えていないが、話し合いの結果、地域の思いを詰め込んだ計画については、町として多いに応援していく。

森林境界明確化のモデル地区とは

佐々木委員 森林境界の筆界想定図を基にした明確化作業、6年度に実施するモデル地区とはどこか。

当局 航空レーザー測量の成果を基に筆界想定図を作り、地権者などに確認していただきながら、図上での境界明確化を行う。鮎貝地区をモデル地区として実施する。

鳥獣対策器材の増設

笹原委員 鳥獣被害の増加で実施隊の負担軽減をはかる器材の拡充は考えているか。

当局 罾にかかった場合に手元で受信できる装置が2セット10機ある。鳥獣対策協議会で増設を検討して、実施隊の負担軽減に努めた

商工費

起業人派遣事業、求める分野は

佐々木委員 地域活性化起業人派遣事業、どのような分野での人材派遣を求めるのか。

当局 首都圏の民間企業から社員を招き、専門知識を地域活性化に生かす事業。

ふるさと森林公園の再整備に向けて、町民の保養や健康づくり、都市間交流の拠点として、施設の機能やソフト面での知識を活用したい。

ふるさと納税、新たな返礼品は

竹田委員 主要な返礼品であったビールが認められなくなった。今後の新たな目玉となる返礼品の状況はどうか。

当局 寄附単価をある程度上げたい。町内宿



航空レーザー測量のイメージ

泊施設のクーポンや織物、着物などを検討している。また農産物を加工し付加価値を付け、安定的に生産量を確保できるような返礼品という視点でも取り組んでいく。



観光交流推進計画 策定事業

横山委員 策定にあたり、新たな視点を取り入れるような方策は検討しているか。

当局 令和元年に策定した観光交流推進計画の計画期間終了に伴い、次期計画を策定するもの。前回の計画をベースに、計画策定時に検討したい。

土木費

空き家対策事業

丸川委員 改正空き家対策措置法が施行され、管理不全空き家に勧告されると、固定資産税住宅用地特例軽減が解除されるが、どう周知していくのか。

当局 これまで適正管理や、空き家バンク登録のお願いの公告を固

定資産税の納付書に同封してきたので、これに併せて周知を図っていききたい。

金田委員 空き家バンクに登録し、マッチングされたときの情報を区長・町内長などに提供されているか。

当局 空き家活用支援交付金を利用された方は、区長、町内長などのお宅を訪問していただくようお願いしている。

金田委員 町内会などに加入されているか把握しているか。

当局 最終的な加入状況までは把握していない。



毎月の除雪委託料に 待機料の考えは

佐々木委員 除雪が全くない月は業者への委託料金が0円になる。事業の維持を念頭に、月々の料金に基本待機料を設ける考えはないか。

当局 5年度は、標準作業時間に満たない業者に対し補填料という形で対応している。今後同様な形で検討していきたい。

消防費

消防団の組織強化

竹田委員 統括分団長を新たに設けることによって、どのような効果が期待できるのか。

当局 各分団長を指揮統括する職として統括分団長を新設する。平日中の出動の際、団長、副団長が不在の場合も考えられ、その際に現場の指揮にあたる職である。

竹田委員 女性消防団員が少ない。今後の方向性はどうか。

当局 全国的に女性消防団員は増加傾向。担う役割や募集方法について団と協議し進めたい。



私たちが守ります

教育費

スクールバス運行管理事業の増額

〔衣袋委員〕 スクールバス運行管理事業費の増額の内容は何か。

〔当局〕 登下校を中心とした朝夕の勤務が主だが、学校行事など臨時的運行にも対応するドライバーの確保が非常に難しく、安定的な運営に向けた委託事業費の増額である。



学校給食費支援

〔衣袋委員〕 学校給食費支援事業が150万円増額になった内容は何か。

〔当局〕 現在、保護者から小学校262円・中学校304円いただいているが、材料費の物価高騰分を補助するものである。



おいしそう！ 栄養満点

〔衣袋委員〕 学校給食調理等業務委託事業の拡充増額の内容はなにか。

〔当局〕 今後の委託経費を設定するにあたり、エネルギー価格の高騰や物価上昇を踏まえ、人件費のほか消耗品、燃料光熱費などを増額する。

中学校改修時の生徒への影響

〔竹田委員〕 中学校の施設改修事業の工事はいつからいつまでか。生徒への影響はどうか。

〔当局〕 6月中旬から2月末を予定している。その間はグラウンドや武道館の使用を代替として考えている。また、山峡^{やまがひ}体育館や各小学校体育館も調整しながらの使用を検討する。

荒砥高校魅力化推進事業

〔丸川委員〕 自動車運転免許取得支援が拡充されるが、どのような内容か。

〔当局〕 町内に就職し、かつ居住される方については、免許取得費用の2分の1を、町内に就職または居住する方については、3分の1を補助するもの。



工事の早期完成を

小四王原遺跡の解体後の保存は

〔佐々木委員〕 遺跡を修繕し保存していく考えには至らなかったか。

〔当局〕 平成19年に新築し復元したが、老朽化が激しく、かやぶき職人もいなくなり修復不可能な状態である。遺跡を砂や土で埋め戻し、芝を張り、コンクリートの柱を建てて遺跡があったことを示したい。



惜しまれつつ解体

特別会計

介護保険

ショートステイ再開
のめどは

竹田委員 白光園ショートステイの再開のめどはどうか。

当局 職員体制の見通しが立ち、4月から受け入れを再開するとの報告があった。

竹田委員 全体としても、介護や支援が必要な方々のニーズに合わせて迅速にサービスが利用できるようになるか。

当局 ケアマネジャーや各事業所と連携し、必要なサービスを受けられるよう支援していきたい。



令和6年度一般会計予算

賛成討論

事業を着実に進めよ

施策の柱の「人づくり」では、こども家庭センターの設置や出生祝金を10万円に増額、新たに妊娠確定までの産婦人科受診費用などの助成を行うなど、安心して子どもを産み育てられる環境が整うものと期待する。

中学校体育館の床などの改修や空調設備の整備、グラウンド排水対策の実施設計業務に着手される。効果的な環境整備を望む。

地域人材ベースキャンプが事業を開始する。

将来的な担い手、人材の確保に寄与できる事業となるよう望む。

「産業・経済」では、有害鳥獣の処理施設の整備に向け十分な検討を進めていただきたい。パレス松風を含めたふるさと森林公園が、新指定管理者となる。

町当局とも十分に連携を取り、町の観光拠点として、観光を盛り上げてほしい。

「地域力」では、消防団の本部の組織強化が図られる。団員の人員確保・維持にも努め、地域防災力を向上し、町民の安心安全に寄与していただきたい。

医療体制も、町立病院の医師が増員される。町民の安心安全で健康な生活の持続に向け、医療や福祉従事者の確

保、医療環境の充実に努めていただきたい。

「定住化」では、移住者確保のために、移住体験ツアーの実施や、保育料完全無償化などの、本町ならではの厚い子育て支援施策を積極的にPRしていただきたい。

住民福祉の向上に向け、令和6年度予算で計画されている各事業に着実に取り組んでいただくことを期待する。



竹田 雅彦 議員

反対討論はありませんでした。

補正予算の 主な質疑

横山委員 白鷹人育成事業の財源である寄附金の内容はどのようなものか。

教育次長 本町出身で京都大学名誉教授である佐藤文隆氏より、図書館の活動などに役立ててほしいという意向でご寄附いただいたも



図書館での活用に期待

質疑 白鷹人育成事業、 寄附金の内容

の。白鷹人育成基金に積み立てし計画的に活用させていただく。

佐々木委員 予算金額が減額になっている理由を伺う。

商工観光課長 申請したが支援要件を満たさなくなり辞退される方がおり、減額した。

若者定着奨学金返還 支援事業

一般会計補正予算の主な内容

白鷹人育成事業 100万円
計画的に活用するため基金に積み立て

若者定着奨学金返還支援事業 △250万円
事業実績見込などに基づく調整

スクールバス導入事業 △4562万円
事業実績見込などに基づく調整

フラワー長井線対策費 320万円
原油価格等高騰により経営に影響を受ける山形鉄道への支援

産地生産基盤パワーアップ事業 1億180万円
収益力強化に向け、農業者等が行う高性能な機械・施設の導入などに対する支援

酪農生産費高騰緊急支援事業 850万円
生産費の高騰により厳しい経営状況にある酪農家に追加支援

飲食店等応援緊急経済対策事業 1320万円
需要拡大に向けた町内飲食店などへの支援

ふるさと森林公園管理事業 1250万円
アルカディア財団の安定運営に向け、運営引継ぎによって発生する資産減少などの損失に対する支援

など、1億8617万円を補正し、一般会計総額は97億9780万円となった。

◎財源は、国・県支出金、繰越金などで対応します。

※万円未満は端数調整



期待と不安で
胸いっぱい

荒砥小学校入学式

4月5日春風そよぐ爽やかな日差しの中、町内の小中学校は入学式を迎えました。

保護者の暖かなまなざしの中、真新しい大きなランドセルに期待と不安を詰め込んで、荒砥小学校では28人が入学し、元気いっぱい登校しました。この笑顔を見て我々も元氣と勇氣そして未来への覚悟をいただきました。この子どもたちに今日のような温かい明日を創らねばと心に刻むひとときでした。



条例

●白鷹町課設置条例の一部を改正する条例の制定

農林業分野において多様化と高度化が進む行政課題へ適切に対応する組織体制とするため、「農林課」を「農政課」と「林政課」に改める。

●ふる里子ども交流館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の設定

ふる里子ども交流館を廃止する。

●白鷹町食と農村交流施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の設定

食と農村交流施設を廃止する。

●白鷹町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の設定

議員の町に対する請負の状況の公表に関して、必要な事項を定める

ほか11件

指定管理

□指定期間（令和6年4月1日から3年間）

●白鷹町深山和紙振興研究センター

●深山工房

指定管理者 深山区

●白鷹町ヤナ公園

指定管理者 白鷹観光開発株式会社

□指定期間（令和6年4月1日から5年間）

●白鷹町産業センター

指定管理者 （一財）白鷹町アルカディア財団

●荒砥駅前交流施設（集会施設を除く）

指定管理者 （一社）白鷹町観光協会

町道の認定

●認定する路線

路線名

一本松線	萩野地内
一本松上坂下線	中山地内
鮎貝駅前線	鮎貝地内



産業建設常任委員会で現地を調査

人事

●人権擁護委員

神居 裕子 氏（鮎貝）

前任者の任期が満了するため、その後任者を選任するもの

請願審査

1. 件名 ガザ地区での即時停戦を求める意見書の提出について
2. 請願者 戦争やんだ！チーム白鷹 代表 菅原庄市
3. 紹介議員 佐々木誠司 議員
4. 付託委員会 総務厚生常任委員会
5. 審査結果 継続審査

部活動の地域移行のめどはどうか

教育長 令和6年度から試験運用できるよう準備する



録画を配信

部活動の地域移行

地域移行のめどは

問 いつまでをめどに地域移行する意向か。

教育長 令和6年度は一部の種目で試験運用を開始できるよう準備を進めている。令和7年度以降を実施に向けた調整期間とし、体制が整ったところから順次移行したい。

部活動の奨励を

問 任意加入制で、部活動をしない生徒がでけると、部活動自体が継続できなくなる危険性もある。部活動奨励も必要ではないか。

町長 いろいろな組織体があり、広域的な見地で取り組んでいく必要がある。

災害に強いまちづくり

耐震性への支援

問 能登半島地震で倒壊による犠牲者が9割。耐震性を高める支援充実の検討が必要では。

町長 経済的に大変だという方もいらっしゃる。うまく調整できる環境を整えたい。

危機意識の向上

問 危機意識向上のため、無料相談会を実施し、耐震診断士派遣事業へ繋がる取り組みも必要ではないか。

建設課長 耐震工事の申請が少ない。大工さんや建築関係の身近な方に協力を得るなど、意識の醸成に努めたい。

上下水道の耐震化

問 能登半島での断水が続いている。上下水道関連施設の耐震化は急務ではないか。

上下水道課長 財政面

消防団が活動しやすい環境整備を

問 災害時の安心安全の要は消防団。出動しやすい環境が大切。企業等への協力的なものも検討してはどうか。

総務課長 他市町村でも事例があり、研究させていきたい。

問 団員数維持のため、30年間勤務し退職金を受給した団員にも引き続き務めていただくよう、何らかの手当も必要ではないか。

総務課長 団からも相談がある。団員確保のため、提案内容を検討させていただきたい。



町の実情にあった部活動を

問 地域移行が大前提だが、休日の部活動も可能な環境であれば、そういう選択肢もあってもいいのではないか。

教育次長 指導者確保や財政面、施設整備面など課題があり、生徒が安心して活動できる環境が整わないと移行はできない。近隣市町と足並みを揃えて進めていきたい。

私もひとこと

総合運動部は必要。さまざまなスポーツに親しみ、楽しさの中から自ら生涯スポーツが見つけられる環境が大事。(60代男性)

竹田雅彦議員



一般質問とは、議員が町政全般について、その事務の執行状況や将来の方針などの報告・説明を求め、政策の提言や質問をすることをいいます。



録画を配信

災害時におけるペット避難の充実を期待する

町長 可能な範囲で場所を確保したいが、個々の判断となる

ペット避難に関する状況

問 ペット避難が可能な指定避難所の状況はどうなっているか。

町長 ペット同行避難が可能な避難所は、示していない。

計画のうえでは、原則として屋外に設けられた所定のスペースで、犬や猫など小型哺乳類をケージに入れて飼育することを想定している。

可能な範囲で雨風をしのげる場所に避難スペースを確保したいと考えているが、個々の状況により検討・判断

となる。

なお、室内で避難者と共に生活する、いわゆる同伴避難は想定していない。動物アレルギーをお持ちの方もいらっしゃるもので、別枠での飼育なども含め全体的に検討していく必要がある。

総務課長 自主避難の場合は、避難指示により設ける指定避難所と違い、町での対応はできかねる部分がある。今後検討する必要がある。

問 それらペット避難に関する情報発信は、
町長 避難される方も準備を行う側も、情報



横山和浩議員



を共有していく必要がある。

飼育スペースの管理

問 避難所におけるペットの飼育場所の管理は主に飼い主が担うと思われる。その備えとして、ペット避難を体験する機会を地区ごとに設けてはどうか。

町長 飼育場所の使用や管理は、飼い主の責任で行っていただくしかないと思う。

ペットの餌や備品などを町が準備することは考えていないが、相談を受けた際にはお応えできるよう準備したい。

併せて、不妊・去勢手術や予防接種などは、飼い主の責任として徹底していただきたい。

総務課長 昨年の町総合防災訓練ではペット避難所を開設し、筆記用具や衛生用品、行動指示書などを入れたスターターキットを用いて訓練を行った。今後は、地区単位程度に事前にお渡しすることを考えたい。

意識の啓発が大切

問 ペット避難に関する意識の啓発はとても大切だと思う。町民課の取り組みはどうか。

町民課長 狂犬病予防接種などの機会に、ペットの災害対策に関する啓発チラシを配布することは可能と考える。

私もひとこと

ペット避難は考えたことがないです。大事ですね。

(60代女性)

事前につつけ、健康管理などを行っていた必要があるため、そうした内容でお配りすることも検討したい。

町長 自分の命を守ることに精いっぱいペットの準備ができなかった、という場合もあり得る。そうした際は避難所の担当者に相談いただければ、次のステージが成り立つと思う。まずは自分の命を自分で守っていく、ということをお願いしたい。

10月の町長選に向けた決意は

町長 現時点でそこまでの考えには及んでいない



録画を配信

第6次総合計画

問 前期計画の成果は何か。

町長 急激な人口減少に対しては特に重点的に対応してきた。

子どもを安心して産み育てていただける環境づくりのため、県内の他市町に先駆けて、保育料や医療費の無償化を実現してきた。

問 施策の柱4分野の進捗状況はどうか。

町長 「人づくり」については、妊娠から出産子育てまで切れ目のない支援や、新しい時代の質の高い教育に向け、GIGAスクール構想

の推進などに取り組んできた。

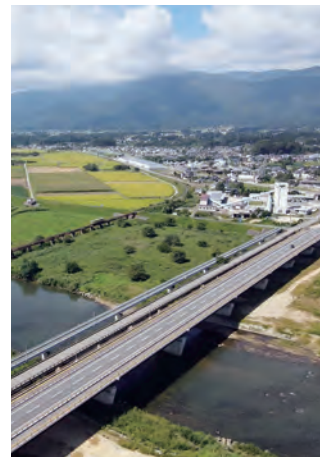
「産業・経済」については、林業の成長産業化に向け、森林境界の明確化や公共施設などへの木材の利用促進などを強力に進めてきた。

「日本の紅をつくる町」に代表される白鷹らしい資源の活用促進に努めてきた。

「地域力」については、コミュニティセンターを核とした地域づくりや、消防団の組織の充実、地域防災マネジャーの設置などにより、防災機能の強化、地域幹線道路網の整備促進に取り組んできた。



金田 悟 議員



地域をつなぐ白鷹大橋

「定住化」について

は、地域おこし協力隊による地域の活性化と退任後の定着促進、空き家バンクなどによる空き家の有効活用を進めてきた。

問 課題としてあるものは何か。

町長 歯止めのかからない人口減少、町立病院の経営の安定化、産業人材の育成、若者の創業などがあげられる。そのほか、ふるさと森林公園の再整備、第二次健康と福祉の里構想の実現、公共施設の老朽化対策などがあり、非常に困難かつ高度な対応を要するものであると捉えている。

問 後期基本計画の考え方はあるか。

町長 現在、まちづくりアンケートや将来人口推計を実施している。今後、これらの分析を進めるとともに、まちづくり座談会や関係団体との意見交換、パブリックコメントなどを行いながら、広く町民のご意見をいただいて進めていく。

特に、人口減少対策については、あらゆる分野へ影響があることから、重点的に取り組む。

私もひとこと

早いものだなあ…。無投票でなく白鷹の将来を思う熱い戦いに1票を投じたい。
(60代男性)

町長選に向けた決意

問 今年10月に任期満了を迎える。町民の負託に応える責務があると思うが、町長の決意はいかがか。

町長 健康が一番、そして間違いのない判断ができることが必要である。健康に問題がなければ、前向きに検討していきたいが、現時点でそこまでの考えには及んでいない。

総務厚生常任委員会 3月7日

都市計画税見直しの検討へ

都市計画税の今後の方向性について（中間報告）説明を受けた。

【現状】

都市計画事業（荒砥・鮎貝地区の下水道整備事業）や鮎貝土地区画整理事業はすでに完了。今後具体的事業の予定もなく、全町下水道化も進み、課税区域内外での税負担の公平性が課題。税は地方債償還金にのみ充当している。

【方向性】

令和7年度以降、充当額が税額を下回る見込みであり、課税の見直しを検討する。

【今後の課題】

①課税をしない場合、約3900万円の減収となることへの対応。
②見直しをする場合、条例改正等の手続きについて検討。

【今後の日程】

令和6年度中 最終報告とりまとめ、議会、都市計画審議会への説明、住民周知等

質疑

今後の事業予定は

委員 都市計画事業は下水道整備のみだったのか。他の事業にもかかわっていたのか。
町長 下水道導入の目的であった。貝生川や鮎貝地区の土地区画整理事業を行ってきた。

委員 今後都市計画事業予定の有無についての見極めはどうか。
町長 事業は当分ないものと認識している。約4千万円の税収をどう埋め合わせしていくかが課題である。

委員 荒砥地区では以前より不平等ではないかとの意見があるがいかがか。
副町長 行政経営改善委員会で議論している。償還も間もなく終わるが、税収が減る分をどうしていくか検討している。

町長 事業は当分ないものと認識している。約4千万円の税収をどう埋め合わせしていくかが課題である。



不平等との意見

委員 荒砥地区では以前より不平等ではないかとの意見があるがいかがか。
副町長 行政経営改善委員会で議論している。償還も間もなく終わるが、税収が減る分をどうしていくか検討している。

町長 事業は当分ないものと認識している。約4千万円の税収をどう埋め合わせしていくかが課題である。

地域人材ベースキャンプの組織設立へ

地域人材ベースキャンプ設立事業について説明を受けた。

【組織設立について】

令和6年3月下旬に地域人材ベースキャンプの運営組織である「したらかマルチワーカー事業協同組合」設立総会を開催する。組合員は17事業者になる見込み。

【マルチワーカーの募集について】

6月稼働に向け、2人のマルチワーカー雇用に向け取り組んでいる。令和5年10月に1週間の体験ツアーを実施し、4人が参加。令和6年4月にも実施予定。今後ウェブ説明会を開催予定。

【町の予算措置】

①特定地域づくり事業

推進交付金

303万5千円

②地域人材ベースキャンプ設立出捐金

300万円

③地域人材ベースキャンプ設立支援業務委託

1千万円

【今後のスケジュールについて】

- 3月 設立総会
- 4月 設立許可申請
法人登記
- 5月 労働者派遣届出
- 6月 事業開始

質疑

国からの補助

委員 国からの補助は、計画実施にも使えるのか。
当局 使えるものと考えている。

委員 いずれ自分たちの利益で運営していくのか。
当局 制度が変わらない限りは、このまま支援していきたい。



動き出したベースキャンプ

その他
○第2期健康と福祉の里構想（町立病院）について
○白鷹中学校グラウンド排水対策について等、説明があった。

どおりいむ農園直売所を、無償譲渡へ

白鷹町食と農村交流施設の無償譲渡について説明を受けた。

【目的】

これまで以上に民間活力の発揮による、地域経済の活性化など、公益性の高い運営を継続的に行うことができ

- ② 土地 1591・75㎡
- ③ 備品（付帯設備）一式

るよう、令和5年度の指定管理協定満了をも

【譲渡の相手方】

白鷹町大字畔藤 9053番地30 有限会社どおりいむ農園

は民間事業者へ無償譲渡するもの。

【譲渡の条件】

当該施設の設定目的の継承及び産直施設としての運営に使用するものとし、他の目的に供してはならない。

【廃止する条例】

白鷹町食と農村交流施設の設置及び管理に関する条例

【無償譲渡する財産】

- ① 産地形成促進施設（産直施設）

木造平屋建て 405・76㎡ その他関連付帯施設

【譲渡年月日】

令和6年4月1日

質疑

地方自治法との関連は

委員 無償譲渡にあたり、地方自治法との関連はどのように考えているか。

当局 町内農家の販売部分に寄与してきたことなどで公益的な要素が高かったことから、これらを重視し、寄附などについて規定している条文に無償譲渡が当てはまると捉えている。

町長 町の顧問弁護士に指導をいただきながら取り組んでおり、事務手続きは妥当と判断している。

土地の有効利用に期待する

白鷹都市計画用途地域の決定について説明を受けた。

【概要】

都市計画用途地域の決定については、東部工業団地の一部が実際の土地利用形態と一致しない箇所があったことから、見直しを行い、適正な配置へ変更された。

【主な経過】

- 令和5年12月22日 令和6年1月11日 変更図書の公告 閲覧
- 令和6年1月31日 白鷹町都市計画審議会に諮問・答申
- 令和6年2月16日 県知事の同意

これまで、東部工業団地西側国道及び北側町道の道路境界から50mに境界線を引いていたものを、実際の工業団地の敷地に境界線を合わせた。これにより、新たに工業専用地域に指定した区域では境界規制の緩和が図られ、新たに準工業地域に指定した区域では、建築物の用途制限の緩和が図られる。

質疑

準工業地域の有効利用は

委員 準工業地域に指定される区域のうち、現在使われていない土地は、有効利用される情報はあるか。

当局 情報はないが、事務所や工場に限られ



東部工業団地

ていた用途から、住宅、旅館など、建てられる施設の選択肢が多様になる。

その他
○町道路線の認定及び廃止について説明があった。

総務厚生常任委員協議会 2月20日

介護保険料の基準額は変わらず

介護保険第1号被保険者の保険料（令和6～8年度）等について説明を受けた。

【第1号被保険者保険料基準額について】

令和6～8年度の3年間の基準額を、令和3～5年度と同額の月額5850円（年7万2000円）とする。

【保険料所得段階及び保険料について】

国は、第1号被保険者間の所得再分配機能を強化し、低所得者の保険料上昇の抑制を図るため、9段階から13段階とした。本町も国の結果を踏まえ、10段階から14段階に設定した（一部町の独自設定あり）。

・第4～6段階は国と同様。
・町独自で設定の第7、8段階は、国の基準を踏まえ設定。
・第9～14段階は、国の第8段階と同様の考え方で設定。

質疑

保険料の影響

【委員】介護報酬が4月より改定になるが、介護サービス標準給付費は、それを見越しての算定か。

【当局】新しい介護報酬で計算している。

【委員】基準額全国平均が6千円を上回っている中、5850円は評価したい。14段階になるが、保険料が上がる

方、下がる方はそれぞれどの程度いるか。

【当局】増となる第11～14段階の方は80～90人程度を見込んでいます。減となる第1～3段階の方は、1300人程度と推計している。



その他
○町立病院の経営状況について
○フラワー長井線の持続的な運行に向けた支援について等
説明があった。

産業建設常任委員協議会 2月20日

できるだけ早期の住宅整備に期待する

子育て支援住宅・若者定住促進住宅整備について説明を受けた。

【事業の目的と概要】

本町への移住定住者の増加と転出の抑制による定住人口の増加を目的に、令和4年度に策定した、子育て支援住宅・若者定住促進住宅整備基本構想に基づき、子育て支援住宅（第3期）と若者定住促進住宅の整備に取り組みもの。

質疑

入居条件

【委員】若者単身世帯において、結婚した場合はどうなるのか等、若者定住促進住宅の入居条件及び退去条件はどうなっているか。

【当局】入居条件はまだ明確に決めていない。状況を見ながら判断していきたい。

【整備規模】
・子育て支援住宅
子育て世帯を対象とした戸建て住宅
12戸



完成予想図
若者定住促進住宅

その他
○酪農生産費高騰に伴う緊急支援事業
○産地生産基盤パワーアップ事業及び担い手確保・経営強化支援事業
○白鷹町飲食店等応援事業
○町道一本松線道路改良事業
○食と農村交流施設の今後の対応について
説明があった。

多様化する農林行政への対応

行政運営組織体制の見直しについて説明を受けた。

農林課を再編、農政課と林政課に

農林分野では、地域計画の策定や農業従事者の確保、6次産業化の推進、森林・林業施策の推進、有害鳥獣対策など行政課題が多様化・高度化している。組織の見直しにより、機動的に対応できる体制を作る。



多様化する農林行政

【令和5年度まで】

○農林課

- ・ 農業振興係
- ・ 農村整備係
- ・ 森林整備係



【令和6年度から】

○農政課

- ・ 農業振興係
- ・ 農村整備係

○林政課

- ・ 林業振興係
- ・ 森林整備係



質疑

有害鳥獣への対応は

委員 有害鳥獣による被害は農作物にとどまらない。課を超えて対応を専門的に行う部署を設置する考えはないか。

当局 対策会議には農林課以外の課も参加している。運営の中で対応していきたい。

町長 被害を防止するためにはどういった施策が良いのか研究している。国や県と連携しながら個体調整を行っていききたい。

その他

○異常気象（少雪）における対応について説明があった。

経営安定に向け補助金を支援

白鷹町ふるさと森林公園再整備へ向けた取組状況について説明を受けた。

【基本構想の策定にかかる取組状況について】

各地区のまちづくり座談会でいただいた意見の中で、温浴施設の維持、充実を期待するものが多くあった。町民の保養施設として、サウナも含めた現在の機能を維持していく方針。

【支援の内容】

○経営安定化補助金 1250万円

質疑

大倉からの提案

委員 大倉と協議とあるが、大倉はどのような考えがあるのか。提案などあったか。

当局 指定管理者公募時に提案いただいた内容があり、検討している。

経営安定化補助金

委員 いつ頃実施されるのか。

副町長 3月議会定例会に提案したい。基本財産の減資も考えながら進めていきたい。慎重に対応したい。



皆さんからの声

= 議会だよりアンケートの結果 =

皆様からいただいた貴重なご意見やご感想を参考に、今後も議会を身近に感じていただける紙面づくりに努めてまいります。

◆回答数：34

◆性別：男16・女13・無回答5

◆年齢：10代… 0 20代… 2 30代… 0 40代… 0 50代… 3
60代… 6 70代… 14 80代以上… 9

質問

* 毎月見ていただいていますか

- 1 見ている…………… 28
- 2 時々見ている…………… 5
- 3 見ていない…………… 1

* 見やすい・読みやすいと思う紙面は

(複数回答)

- 1 写真や色使いが良い…………… 14
- 2 見出しで内容がわかる…………… 15
- 3 文章がわかりやすい…………… 8
- 4 議会のことわかる…………… 19
- 5 その他…………… 4

* 見にくい・読みにくいと思う紙面は

(複数回答)

- 1 言葉が専門的…………… 8
- 2 色が多く目が疲れる…………… 6
- 3 文章が長い、わかりづらい…………… 6
- 4 内容が面白くない…………… 5
- 5 その他…………… 2

ご意見から

・全て掲載できませんがご了承願います

- ・印刷に金がかかるザラ紙で良い。
- ・カラーでなくとも白黒で良い。
- ・年3回の発行でも良い。
- ・「施策の柱」成果を表記してもらいたい。
- ・ページ数が多い。
- ・詳しいところがよくわからない。
- ・意見のぶつかり合いがよくわかるように。
- ・議員の情報が少ない。プライベートなところも載せてほしい。
- ・議会だよりを見ると自分の町政への無関心を痛感します。
- ・町の現状がわかります。

ご意見
ありがとうございました。



広報委員

委員長
丸川 雅春
副委員長・編集長
佐々木 誠司
委員
金田 悟
委員
竹田 雅彦
委員
衣袋 正人
印刷・(有)梅津印刷



(衣袋)

◆皆さんと共に、明るい未来を目指し上を向いて歩みましょう。あの花々のように。

◆寒い冬が終わりを告げ、この町は梅・桃・桜・こぶしなどが一斉に開花し、そのあでやかな景色とかがわしい香りは、町民の皆さんの幸せをやさしく見守ってくれているようです。

◆皆さんと共に、明るい未来を目指し上を向いて歩みましょう。あの花々のように。

編集後記



発行責任者 白鷹町議会議員 菅原 隆男 編集 議会広報特別委員会

〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地
E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp

電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128
HP <http://www.town.shirataka.lg.jp/gikai/>

